

非血縁者間骨髄採取認定施設 採 取 責 任 医 師 各 位

公益財団法人 日本骨髄バンク
ドナー安全委員会

骨髄採取中、骨髄液に抗凝固剤(ヘパリン)が混注されていなかった事例について

このたび採取施設より、採取途中より骨髄液に抗凝固剤が混注されていないことが発覚し抗凝固剤を追加した事例の報告がありました。本委員会で検討した結果、再発防止の観点から通知することといたします。

つきましては、下記内容をご確認いただき、適切なご対応をお願いいたします。

記

対 応 ： 骨髄採取時の責任体制・採取手順（SOP）を明確にし、手順を遵守する。
また、骨髄採取時の責任体制については、ドナー（採取）側を主に担当する
医師と、骨髄液の処理を主に担当する医師を明確にすることが望ましい。

【採取施設報告書より】

<概要>

- ・生理食塩水を 2L ビーカーに移し、500ml ビーカーにヘパリン加生食を作成。
- ・骨髄採取中にコレクションコンテナ内(ボーンマロウコレクションキット使用)の凝血塊がいつもより目立つことに術者が気づき、採取途中よりヘパリン加生食が入ったビーカーと生食のみが入ったビーカーを取り違い、骨髄液にヘパリンが混注されていないことが発覚し、最終ヘパリン濃度が 10 単位/ml となるよう追加した。

<再発防止策>

- ・取り違い防止のため、生食のみのビーカーを採取前に破棄する。
- ・採取担当医師が、採取をしながら全ての状況を把握することは困難であるため、骨髄液の処理を専任とする医師を 1 名増員する。

以上

問い合わせ先

(公財) 日本骨髄バンク ドナーコーディネート部 杉村・窪田 TEL 03-5280-2200